



二階俊博幹事長（左から4人目）に要望書を手渡す大野英男東北大総長（右から3人目）

## 実現へ前向きな姿勢を

### 推進協、政府与党に要望



【東京支社】国際リニアコライダー（I L C）の国内誘致を目指す東北I L C推進協議会は8日、実現に

向け前向きな姿勢を打ち出すよう政府与党に要望した。出席者によると、対応した自民党の二階俊博幹事長は「頑張りましょう」と理解を示した。

共同代表の大野英男東北大総長と高橋宏明東北経済連合会名誉会長、達増知事や東北I L C準備室長の鈴

木厚人県立大学長らが自民党本部を訪問。二階氏に要望書を手渡した。

出席者によると、非公開

の意見交換で同協議会側はI L C建設の意義や地元の思いなどを説明した。二階氏との面談後、達増知事は「じっくりと説明に耳を傾

けてくれた」と手応えを語った。

同日は、菅義偉官房長官らにも要望した。

I L Cは本県の北上山地（北上高地）が世界最有力の建設候補地とされ、日本政府が誘致に踏み切るかどうか焦点となっている。